

「調査書」の記入について

日本文理高等学校

(1) 「受験番号」の欄

本校において記入する。

(2) 「生徒氏名」の欄

生徒指導要録どおりに生徒の氏名を記入する。

(3) 「性別」の欄

男又は女と記入する。

(4) 「生年月日」の欄

生年月日の元号が昭和の場合は、平成を＝線で消して、昭和と書き改めること。

(5) 「卒業年月」の欄

卒業又は卒業見込の年月を記入する。なお、入学や卒業の年月日の元号が昭和の場合は、平成を＝線で消して、昭和と書き改めること。「卒業 卒業見込」については、該当するものを○で囲む。

(6) 「各教科の学習の記録」の欄及び「総合的な学習の時間の記録」の欄

ア 平成30年度卒業見込の生徒

(ア) 「第3学年の観点別学習状況」は、3年における観点別学習状況の評価を「評価」欄に記入する。この場合、「十分満足できると判断されるもの」をA、「おおむね満足できると判断されるもの」をB、「努力を要すると判断されるもの」をCとし、評価できない場合は該当欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。

(イ) 「評定」の1、2年の欄には、指導要録の各教科の5段階評定を転記する。3年の欄には、調査書作成時までの評定を、絶対評価による5段階評定で記入する。ただし、不登校や特別支援学級等への在籍により、所定の欄に評定を記入することができない教科がある場合は、該当欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。その場合、副申書(様式自由)を添付することができる。

(ウ) 選択教科については、選択教科の欄に履修した学年、教科名及びその評定を記入する。ただし、共通履修としての「英語」は、「英語」の欄に転記する。

選択教科の評定は、A、B、Cの3段階とし、その評定は絶対評価に基づくものとする。この場合、「十分満足できると判断されるもの」をA、「おおむね満足できると判断されるもの」をB、「努力を要すると判断されるもの」をCとする。なお、不登校や特別支援学級等への在籍により、所定の欄に評定を記入することができない教科がある場合は、評定欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。その場合、副申書(様式自由)を添付することができる。

(エ) 外国の学校からの編入学等により、履修しなかった教科がある場合には、該当欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。

(オ) 「総合的な学習の時間の記録」の欄には、取組の内容(テーマ等)と取組状況を簡潔に記入する。なお、取組の内容(テーマ等)と取組状況を記入できない場合には、その理由を記載する。

イ 平成 29 年度以前の卒業生

(ア) 「第 3 学年の観点別学習状況」の「評価」欄及び各教科の 1、2、3 年の「評定」欄には、指導要録の記載を転記する。ただし、不登校や特別支援学級等への在籍により所定欄に転記することができない場合には、該当欄に斜線を引き、☆欄に指導要録の記載事項を転記する。なお、その場合、副申書(様式自由)を添付することができる。

(イ) 選択教科については、選択教科の欄に履修した学年、教科名及びその評定を記入する。ただし、共通履修としての「英語」は、「英語」の欄に転記する。なお、選択教科を実施していない場合は、空欄のままとする。

(ウ) 外国の学校からの編入学等により、履修しなかった教科がある場合には、該当欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。

(エ) 「総合的な学習の時間」については、取組の内容(テーマ等)と取組状況を簡潔に記入する。

なお、「総合的な学習の時間」を実施していない場合には、「総合的な学習の時間の記録」の欄に斜線を引く。また、取組の内容(テーマ等)と取組状況を記入できない場合には、その理由を記載する。

(7) 「健康の状況に関する特記事項」の欄

志願者の健康の状況に関することで、受験に際して特に配慮すべきことがある場合のみ、具体的に記入する。記入事項のない場合は、斜線を引くこと。

また、別室受験など受験者に対する特別措置を講ずる必要がある場合には、必要とする特別措置の具体的内容について、出願前に本校に相談すること。

(8) 「特別活動の記録」の欄

中学校 3 年間の学級活動、生徒会活動、部活動(全国大会や県大会等の出場を含む)及び学校行事における生徒の校内の活動状況について、主な事実の記録を具体的に記入する。

また、「その他」については、各種検定など、上記以外の活動を記入する。記入事項のない場合は、斜線を引くこと。

ただし、平成 29 年度以前の卒業生については、卒業時の指導要録に基づき記入するものとする。

(9) 「行動の記録」の欄

設置者が定める生徒指導要録記入の手引きに基づき、各項目ごとに行動の状況を評定し、該当欄に○印を記入する。

(10) 「出欠の記録」の欄

平成 30 年度卒業見込の生徒の 3 年の欠席日数は、平成 30 年 12 月末日現在の日数とする。なお、「欠席の主な理由」は、各学年において欠席日数が 10 日以上のものについて記入し、記入事項のない場合は斜線を引く。

(11) 「総合所見」の欄

各教科及び総合的な学習の時間の学習の状況や行動の状況について、総合的に見た場合の生徒の特徴及び指導上留意すべき事項を記入する。また、地域のスポーツ団体やボランティア団体に所属するなどして行っている校外の諸活動について、顕著な実績等があれば記入する。

なお、入学者選抜の資料として、特に高等学校に知らせておく必要がある事項及び入学後留意する必要がある事項等があれば、この欄に記入する。

(12) 「記載者 職・氏名」の欄

記載者の職と氏名を記入する。

(13) 「校長氏名」の欄

調査書作成年月日、学校名、校長氏名を記入し、職印を押印する。

(14) 平成 24 年度(平成 25 年 3 月卒業)以前の卒業生の調査書について

「各教科の学習の記録」、「総合的な学習の時間の記録」、「特別活動等の記録」、「行動の記録」、「出欠の記録」及び「総合所見」の欄には、斜線を引き、☆欄に「指導要録の指導に関する記録の保存期間を経過しているため、これに関する項目を記入することができない」旨を記入すること。